

令和4年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 5
 千葉県立京葉工業高等学校 全日制の課程
 機械科 電子工業科 設備システム科 建設科

1 選抜資料

評価項目	評価基準
(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：5分間
(3) 自己表現	実施形態：個人での発表 検査時間：発表する時間は2分間

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔175点満点〕

アの数値に、イ・ウを除き、エ～カについて加点(上限40点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間で欠席が30日以上の場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事等の活動において、優れた実績等については、10点を上限として加点する。
オ 部活動の記録	部活動等の取組や実績については、15点を上限として加点する。3カ年同一部活動又はクラブ継続者については、5点を加点する。
カ 特記事項	取得資格等の実績については、10点を上限として加点する。
キ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔50点満点〕

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価をする。aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各25点満点)を合計し、得点化する。ただし、評価cが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 規範意識	「きまり」についての理解し、「きまり」を守ろうとする態度等が感じられる。
イ 協調性	他者を大切にし、協力して共同生活する気持ちが感じられる。
ウ 特別活動・部活動	特別活動・部活動への関心・意欲が感じられる。
エ 安全意識	「自分がけがをしない」、「周囲の者にけがをさせない」ための意識が感じられる。
オ 質問に対する応答	質問内容を理解し、分かりやすく回答しようとする姿勢が感じられる。

(3) 自己表現〔40点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。アはaを10点、bを5点、cを1点、イ・ウはaを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。ただし、評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 意欲・内容	<ul style="list-style-type: none">志望動機を具体的に伝えようとしている。将来の目標を明確に伝えようとしている。発表内容が分かりやすい。発表に意欲的に取り組もうとしている。
イ 話し方・表現力	<ul style="list-style-type: none">わかりやすい言葉づかいで話そうとしている。内容をわかりやすく表現しようとしている。日本語の能力は問題としない。
ウ 身だしなみ・態度	<ul style="list-style-type: none">服装に問題がない。頭髮に問題がない。発表の態度に問題がない。入室・退室・椅子の座り方に問題がない。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「自己表現の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の得点	自己表現の得点	総得点
評定（K=1）	加点			
135点	40点	50点	40点	265点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

4 その他

過年度卒業者については、面接検査終了後、別途個人面談を行う。